

平成22年度

# FD 研究部会活動報告書

徳島文理大学  
徳島文理大学短期大学部

# FD 研究部会活動報告書

## 目 次

1. はじめに	1
2. FD活動の内容	1
3. 研修会・講演会	2
4. 全学授業評価アンケート	4
5. 研究授業	6
6. 卒業生満足度評価アンケート	8
7. おわりに	10

### 付属資料

1 FD研究部会会議	11
2 研修会・講演会	14
3 全学授業評価アンケート	17
4 研究授業	26
5 卒業生満足度評価アンケート	30

## 1. はじめに

平成 20 年度より学士課程で FD が義務化されることを受けて、徳島文理大学における全学的 FD 活動の推進と支援を目的として「FD 研究部会」が平成 19 年 12 月に設立された。以来、全学的 FD 活動に取り組み、平成 22 年 3 月までの FD 研究部会の活動を「FD 研究部会活動報告書」として纏め、報告書を平成 22 年 5 月に刊行した(創刊号)。平成 22 年度(平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月)においても、FD 研究部会は FD 活動を積極的に推進した。基本的には次章「FD 活動の内容」記載の前年度までの FD 活動を継続したが、本年度は、創刊号記載の改善計画を取り入れ、FD 活動を実施した。FD 研究部会では FD 活動を単年度ごとに、活動報告書として刊行する方針である。そこで、平成 22 年度の FD 研究部会の活動内容を報告書として纏めた。

## 2. FD 活動の内容

FD 研究部会委員に多少の変更はあったが、平成 22 年度においても FD 研究部会は短期大学部を含む 9 学部と教育・研究支援グループより選出された委員で構成された。平成 23 年 3 月までにはほぼ 1 ヶ月半に一度の割合で 9 回の FD 研究部会を開催し、4 項目(1. 研修会・講演会、2. 全学授業評価アンケート、3. 研究授業、4. 卒業生満足度評価アンケート)に関する活動を行った。(付属資料-1)

### 2-1 研修会・講演会

これまでの FD 活動の結果、FD 活動の理念・目的については、教員の理解が深まったとの認識の下、本年度は具体的な授業改善の方法についての研修会・講演会を開催した。講師は「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)の運営に中心的に関わっている、愛媛大学教育・学生支援機構副機構長兼教育企画室長の小林直人教授、テーマは「教職員のための大人数講義法入門」として、平成 23 年 3 月 22 日、徳島キャンパスにおいて講演会を実施した。講演会後のアンケートでは非常に高い評価であり、今後の研修会・講演会のあり方についての指針が得られた。

### 2-2 全学授業評価アンケート(全学共通の学生による授業評価アンケート)

授業評価アンケート実施が定着したこともあり、アンケートの全般に亘り、改善意見も多い。その中から、(1)学部・学科としての取組、(2)各学部用設問の活用、(3)フィードバック、の徹底を掲げて実施した。

結果は全ての項目で平均スコアは前期より後期が高く、授業評価アンケートが授業改善に貢献していることが示された。ただ、残念ながら、本年度も教員

の熱意にも関わらず、学生は授業内容を十分に把握していないことが懸念された。一因として「授業の説明のわかりやすさに欠ける点」が指摘されており、授業の進め方の改善が必要である。

フィードバックについては、その返答率は前期、後期ともにおよそ93%と非常に高率であり、フィードバックの意義に対する理解が深まった証左である。学生および教員の授業改善に関する取組の双方向性が着実に高まっていることが裏付けられた。なお、結果の公開方法/方式については今後の緊急の検討課題である。

### 2-3 研究授業

本学では研究授業を「教員相互の授業参観」と位置づけている。目的は他の教員の授業参観を行うことにより、自身の授業の改善に資することであり、現在ではその意義と役割は教員の間で十分浸透している。実施回数は昨年と比べて減少したが、目的達成には問題はないと考えており、むしろ、参加率に関しての検討が焦眉の急である。FD研究部会として平成23年度の参加率向上の具体策を提示した。なお、現状の「授業担当者」及び「参加教員」のフィードバック方法も検討が必要であり、今後の重要な検討事項としたい。

### 2-4 卒業生満足度評価アンケート

卒業生満足度調査の目的は、入学から卒業までの学生生活全般についての調査結果を基に、在校生及び今後入学してくる学生がより良い学生生活をおくることが出来るように改善を図るためである。昨年度から始め、本年は2年目に当たる。学生生活全般について5カテゴリー、23項目についてアンケートを実施した。

昨年も学生から高い評価を受けたが、本年度は1項目を除いて昨年度を上回る、さらに高い評価であった。大学挙げての取組が評価された結果と判断される。ただ、大学の施設、キャンパスライフについて、徳島、香川キャンパスでの評価の違いが懸念される。

## 3. 研修会・講演会

### 3-1 現状

FD活動について、個々の教職員がその重要性を理解し、それぞれの教育の場面において継続的な改善に取り組むための動機付けを継続的に図っていくことが必要である。このため、平成22年度においては、20年度及び21年度における研修会・講演会の取組実績や参加教職員のアンケート結果を踏まえ、「教職員のための大人数講義法入門」をテーマとして、平成23年3月22日、徳島キャンパスにおいて講演会を実施した。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)の運営に中心的に関わっている、愛媛大学教育・学生支援機構副機構長兼教育企画室長の小林直人先生による講演、及び本学FD研究部会長によるFD活動の進捗についての報告を行った。香川キャンパスからの参加者の便宜のために往復バスを用意し、両キャンパスをあわせて約140人の参加があったが、聴き手の参加を取り入れた、講師のわかりやすく巧みな話術により、集中度の高い講演会となった。

講演会後のアンケートでは、「今後の授業改善のために大変役立つ内容であった」が75%、「参考にすべき内容が幾つかあり、まずまず良かった」が22%と大変高い評価が得られた(全回答数85)。他に、今後の講演会、研修会について、また、本学のFD活動について要望・提言や感想が多数出され、FD活動への理解のさらなる深化と個々の教職員の積極的な取組への動機付けが図られた。

なお、本講演の内容は、過年度において本学が導入した、e-ラーニング教材(「講義に活かせるFD講座～入門編～」)と直接的に連携しており、事後における個々の教職員の自発的研修へのきっかけづくりの役割も果たすことができた。さらに、FD活動を適時・適切に推進していくためには、大学外におけるFDに関する情報を幅広く収集し、本学の状況にあわせつつ参照・反映していくことが必要である。このため、「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)をはじめ、全国、関西、四国等さまざまなレベルにおいて開催されるFD関係の研修会・講習会等に、本学FD研究部会委員を中心として派遣・参加し、多様なFD事例・情報の収集や他大学教職員等との交流を図った。(付属資料-2)

### 3-2 点検・評価

FDに関する研修会・講演会については、FDの意義や必要性について多くの教職員の理解を深め、意識を高めることとともに、個々の教員の実際の授業改善に役立つようなスキルアップの機会の提供が求められる。こうした方向性に沿い、これまで本学においては、FDに関わる研修会・講演会を計画・実施してきている。

平成22年度において開催した講演会については、テーマと講師が受講者のニーズとうまくマッチングしたためか、参加者のアンケート結果からは高い満足度がうかがえるとともに、FDについてのより具体的な要望、提案などが活発に出されている。

こうしたことから、FD研修会・講演会は、本学のFDについての理解の促進や意識変革、授業法のスキルアップの面等で有意義な貢献を果たしていると評価できる。

### 3-3 改善計画

本学のFDの進捗状況を適切に見極めた上で、教職員のFD研修についての

ニーズを踏まえ、本学として求められる研修会・講習会を適時に、継続的に実施していくことが必要である。また、ICTの活用などを含め、個々の教員の教育力の開発につながるような研修の機会づくりについて取り組む。あわせて、他大学等との連携等によりFDに関わる情報の収集や研修機会の充実に努める。

## 4. 全学授業評価アンケート

### 4-1 現状

平成22年度における全学授業評価アンケートは、前年度までの実施方法を基本的には継承した。授業評価アンケートはマークシート方式であり、各学部に通の基本質問項目と各学部や各授業ごとの設問項目と自由記述欄が含まれた形式となっている。これらを人数分用意し、前期・後期の授業が終了する前に担当教員に実施を依頼する方法であった。授業評価アンケートのシートは、無記名で回収後、一括集計処理を行ない、評価結果を授業担当者に返した。その際、授業担当者は結果に関して感想、来年度の改善点などを書いたフィードバックシートを作成、教育・研究支援グループへの提出とともに、学内掲示板などを利用して一定期間、学生に対して開示した。

前年度に改善計画として指摘されたこととして(1)学部・学科としての取組、(2)各学部用設問の活用、(3)フィードバックの徹底があった。これらについて、平成22年度では、各学部に対し具体的な取組を議論するよう要請を行なった上、FD研究部会において検討を行なった。また、全学授業評価アンケートの実施方法の再検討や結果公表についての調査も行なわれた。(付属資料-3)

### 4-2 点検・評価

#### (1)アンケート実施について

平成22年度は、全体としてアンケート実施・回収とも特段の問題はなかった。例年通りの方法については理解が行きわたったことにより、概ね円滑に行なわれた。なお、実施や回収の方法についてより良い方法の検討が部会で継続的に議論されている。

#### (2)アンケートの結果について

平成22年度の回答者数は学部・短期大学を合わせて、前期が32,336名、後期が21,994名となっている。前後期共通して見られる特徴として、教育内容や方法に関する6つの質問と評価(前期/後期)のうち「授業内容は、シラバスにそっていましたか」(4.02/4.06)「授業に対する教員の熱意が感じられましたか」(4.23/4.25)が相対的に高かったにも関わらず「授業の目標や内容は理解できましたか」(3.92/3.99)は若干低くなっている。この一因として「授業

の説明がわかり易かったですか」(3.89/3.96)に対する評価も相対的に低いことを考えると、授業の進め方について改善していく余地があることも伺える。学生自身の取組について聞いた質問では、「授業に集中し、理解しようと努めましたか」(4.11/4.11)という問いには学生自身高く評価しているにも関わらず「授業に関して予習復習を十分に行ないましたか」(2.85/2.91)という点では低い評価となっており、意欲に反して効果的な取組ができていないかもしれない可能性がある。

### (3)フィードバックについて

評価結果に対するフィードバックは、掲示板や研究室のドア等に掲示したり、冊子にして学生の目に触れる場所に置かれた。本年度は、より良い実施方法の模索とともにフィードバックの公開方法についても調査検討が行なわれた。他大学の事例について参照し、インターネットを活用した方法について関係部署との意見交換を進めていくことなどが議案として取り上げられた。

## 4-3 改善計画

### (1)アンケート実施方法の検討

授業評価アンケートの実施方法について検討を行なった。論点として(a)アンケート実施方法、(b)アンケート実施後の回収方法があった。

アンケート実施方法について、従来行なっているマークシート記入による実施の他に、Web を利用したオンラインによるアンケートの実施の方法がある。オンラインで実施することによって、マークシート作成にかかる経費の軽減、集計・結果公開との連携性の高さなどが期待されることが話題とされた。ただし、この点については学内のネットワークシステムとの兼ね合いもあり、今後、本学情報センターとの意見交換の必要性があるという指摘にとどまった。

アンケート実施後の回収方法については、教員によるマークシートの回収の手続きについて、回収の煩雑さや公平な評価への影響など様々な観点から意見交換がなされた。回収に関して受講生の協力を得るなどといったアイデアも提出され、来年度の実施においても引き続き最良の方法を模索し状況に応じて実施することが期待される。

### (2)評価結果・フィードバックの活用

評価結果と教員からのフィードバックの活用について検討が行なわれた。

オンラインによるアンケートの実施の議論とあわせて、結果とフィードバックの公開をネット上で行なうことも検討された。こうした議論に先立ち、他大学における授業評価アンケートの結果公開状況について調査を行なった。調査では、他大学において(a)「選択肢回答」部分のみ集計結果を公開する、(b)「自由記述」部分の列記も合わせて公開する、(c)「報告書」として分析を加えてまとめたものを公開する、の3タイプあることがわかった。また公開範囲も学内

のみ、学外にも公開するものの両方があった。公開タイプや範囲に関しては各学部の判断も十分尊重しながら、大学として評価結果の公開方法を集約していく必要があると考える。

実施方法と合わせて、ネットワークシステムの利用可能性も含めて、情報センターなどとの情報交換が望まれる。

## 5. 研究授業

### 5-1 現状

本学では、平成 20 年度後期より、徳島・香川両キャンパスの全学部で研究授業を実施している。平成 22 年度は、前期実施分が 17 科目（このうち、徳島キャンパスが 13 科目、香川キャンパスが 4 科目）で、後期実施分が 12 科目（このうち、徳島キャンパスが 8 科目、香川キャンパスが 4 科目）であった。実施回数については、各学部や各学科の教員数の実情を踏まえて決定している。

#### (1)目的

本学の研究授業は、「教員相互の授業参観」と位置づけている。これは授業担当者の指導レベルの向上を主としたものではなく、授業参観教員の授業改善に資するためのものである。従って、授業担当者の教授法に対する批判等を行うためのものではない。

#### (2)実施方法

各学部及び各学科は、学期はじめに研究授業を担当する教員と研究授業を補助する教員（授業協力者）を定める。担当教員は、研究授業とする科目及び実施日を決定する。科目と実施日については、FD 研究部会が全学の教員に対して周知し、出席を促す。研究授業は、所属学部にとらわれず誰でも聴講できることとした。本学では 1 講時が 90 分であるので、原則として前半の 60 分を授業参観とし、残りの 30 分を、研究授業担当教員と授業協力者、参観した教員による研究授業に関する意見交換会とした。進行及び記録は授業協力者によって行われ、上記の研究授業の主旨に基づいて建設的な姿勢で、授業行動全般、学生の反応、授業者と学生の相互作用などに着目して討議した。

研究授業の記録は、別紙に示す様式にて、授業担当者と授業協力者によって作成される。作成記録は、研究授業実施後概ね 2 週間以内に FD 研究部会に提出するように担当教員に依頼した。（付属資料-4）

### 5-2 点検・評価

平成 20 年度から全学的に始めた研究授業は、当初は多種多様な意見があったが、3 年目ということもあり多くの教員に本学における研究授業の主旨・位置づ



けを正しく理解してもらい、好意的に受け入れてもらえるようになっている。ただし、実施科目数は昨年度よりも減少した。平成 21 年度の研究授業は 32 科目実施されたのに対し、平成 22 年度は 29 科目であった。この背景にはいくつかの要因が考えられる。「実施科目数は原則として 1 学科で年間 1 回か 2 回」という方針が打ち出されたこと、また、実施回数を多くすればよいというものでもないという認識が生じていることなどが挙げられる。FD 研究部会としては、この頻度の実施で問題ないと考えている。

研究授業への教員参加率については検討の余地が大いに存在する。各実施記録を参照に学科別で見た場合、研究授業を参観した教員数が 1 名の科目もあれば 20 名を超えた科目もある。平均すると 4 名前後の参加者数と推測される。1 学科の専任教員が 10 名前後であることと実施回数を鑑みれば、この値が高いとは言いきれない。

研究授業を開始して 5 学期が経過した。殆どの教員は、研究授業の担当者あるいは参観経験者であると思われる。最初は、手探り状態だったこともあり、「とりあえず研究授業をやってみる。とりあえず研究授業に参加してみる」という感覚であったと思うが、今後は、これまでの経験を踏まえ、今以上に具体的な教育的効果が向上したことを示す必要があると思われる。

### 5-3 改善計画

研究授業の存在と目的は、初年度に比べて各教員に浸透してきていると考えられるが、研究授業へのより積極的な参加を促進するためには、新たな対策が必要であると思われる。

そのための改善策として、研究授業の実施計画を平成 22 年度よりも早めに行い、研究授業の周知・準備を充実させる必要があると考える。特に、時間的余裕があれば、周知のための時間的余裕を確保できるだけでなく、研究授業の実施日時を教員が参加しやすいように変更したり、参加予定者を事前に調査したりすることができる。これは教員参加率の向上になると共に、授業担当者は十分な準備が行えるようになる。

また、参加教員のマンネリ化を防止する意味も込めて、他学部への参加を促すことを検討する。講義内容が近いと授業方法が似通ったり、新たな気づきを感じられなかったりする。また他学部の講義でも、自身の専門分野と関連のある講義に参加をすると、普段とは異なる面から気づかされる事も多いと考えられる。そのような点から見ても、ひとつの試みとして他学部の研究授業の参観を勧めていきたい。

「授業担当者」及び「参加教員」のフィードバック方法については検討が必要である。両者とも研究授業終了後その場での意見交換はできているが、それをその後の授業で活用しているかどうかの検証ができていないのが現状である。どのような手順でこれを実施すればよいのか検討は続けているが、まだ協議事項の域を抜けていない。今後の FD 研究部会の重要な検討事項としたい。

## 6. 卒業生満足度評価アンケート

### 6-1 現状

本 FD 研究部会は、昨年度（平成 21 年度）より徳島、香川の両キャンパスの大学院、専攻科、大学 8 学部、短期大学部の新卒業生全員を対象とした卒業生満足度評価アンケートの一斉実施を企画・実施しており、本年度はその 2 年目にあたる。

これは、本学を巣立っていく学生の徳島文理大学における在学中の学生生活について様々な観点からの率直な評価と忌憚のない意見を本学の将来設計に生かすことを主目的とするものである。データは、集計と分析を行った上で、学生にとってより充実した学生生活を送ることができる大学へと改善を進めていくための基礎資料の一つとして活用される。

実施方法は、卒業式を間近に控えた 2 月～3 月に新卒業生が集まる時間を選んでシートを配布、その場で記入・マークした後、回収する対面方式とした。アンケート項目は、昨年と同一であるが、初回実施の際の意見を踏まえ、今回は自由記述欄を良かった点と、改善すべき点に分けて記入できる形式とし、忌憚のない意見が記入できるよう改良した。昨年度同様、シートを配布したほぼ全員から回答を得た。（付属資料-5）

### 6-2 点検・評価

卒業生満足度評価アンケートの評価は、5 カテゴリー、23 項目について行った。評価は 5 点満点とし、最も満足度の高い評価が 5.0 となる。

#### (1) 記入者

卒業生本人(回答者)については、性別、クラブ活動参加状況、在学中の居住形態、卒業後の進路をアンケート項目とした。昨年と本年度を比べると、男子学生の割合が若干増加したこと、また自宅生の割合が同じく若干増加している傾向がある。その他の指標を含め、今後中・長期にわたってデータを収集・解析する際に活用していく予定である。

#### (2) 授業・教育課程

授業・教育課程について、5 つの評価項目を設問とした。本年は、この 5 項目すべて、昨年よりも高い満足度評価であった。なかでも、授業科目の充実度と教員の熱意に対する評価は 2 年続けて 4.3～4.4 ときわめて高い評価であった。これは、ほとんどの卒業生から、きわめて満足度の高い満点の 5、もしくはおむね満足度が高いスコア 4 との評価を意味しており、大いに勇気づけられる結果といえる。

その一方で、免許や資格を取得する課程の充実度についての項目では、学部により取得できる免許や資格が大きく異なるため評価にもばらつきがあったことは、昨年と同様である。来年度は、薬剤師免許を大きな教育目標の一つとす

る徳島、香川両キャンパスの6年制薬学部、ならびに保健福祉学部の第一回卒業生が輩出する年で、卒業生アンケートの対象者も大幅な増加が見込まれる。そのため、この項目の設問表現をさらに精選していく必要があるといえる。

授業・教育課程の総合的な満足度評価は、5項目の全学生平均4.2であり昨年度の4.1からさらに高いポイントであり、在学中に本学で勉学に励み、高い満足度をもった卒業生を多く輩出することができたことは、今後のなによりの励みとなる。

### (3)施設及び支援体制

大学の施設および各種の支援体制の満足度については9つの評価項目を設けた。授業科目の履修支援、図書館の利用、授業等に必要な設備についての評価が昨年同様高く、特に学習支援に対する満足度は昨年を0.2ポイント上回る4.2もの高い評価であった。キャリアサポートについては、昨年度3.7から4.0と大幅に満足度が上がっているが、昨今の就職をめぐる厳しい情勢を踏まえ、なお一段の支援体制の強化が求められている。

食堂、購買、コンビニや情報設備、ソフトウェアの充実度については、昨年度、徳島と香川キャンパスとでは、満足度に温度差があった。本年度もこの傾向は続いており、キャンパスの立地環境を踏まえながらの検討課題といえる。保健・体育施設に関する満足度は、本年度やや高い評価となったが、多様なニーズを持つ学生が多様な支援・設備を求めていると考えられることから、今後設問項目の再検討も視野に置く必要がある。また経済支援（奨学金等）体制の一層の充実が期待されている。

### (4)キャンパスライフ

本学での学生生活をより多角的にとらえるためにキャンパスライフについての4つの評価項目を設問とした。信頼できる教員や友人に出会えましたかという徳島文理大学での学生生活で得られた一生の収穫ともいえる項目で昨年をさらに上回る4.6という最高のスコアであった。また、キャンパスの清潔度も4.5と極めて高い評価となった。ただ、大学周辺の生活環境については、平坦な市街地に位置する徳島キャンパスと、丘陵上で郊外に位置する香川キャンパスとでは明確なスコアの差がでている。香川キャンパスでは、通学のための唯一の公共交通機関であるさぬき市コミュニティバスの土曜及び日曜の運行が休止されたことで、クラブ活動や実験・実習などに影響がでている懸念がある。大学周辺の生活環境の評価にも同じことがいえそうである。自由記述欄に通学の大変さを記述した学生もおり、経済・家庭の事情から遠距離自宅通学生が増えつつある状況に鑑み、よりきめの細かい支援の検討が必要とされる評価であったといえる。

## (5)総合評価

最後に、本学での学生生活を総合評価する項目では、全学平均値 4.5 と、昨年を上回るきわめて高い満足度評価が得られた。

## 6-3 改善計画

本年度は、昨年、初めての試みとして、両キャンパス全学部共通の質問項目で実施した卒業生満足度評価アンケートの 2 年目にあたる。ほとんどの項目で昨年を上回る評価であり、改善の成果が満足度の向上に結びついたといえる。また、アンケート内容、実施方法などにおいても特段の問題はなかった。

今後は、昨年と本年度の結果を比較検討し、将来に生かすべくより詳細な分析を加えながら、毎年実施してデータの蓄積をすることが大切である。さらに、設問項目では汲み取れなかった卒業生の思いを、自由記述欄を改良しながら、より多くの卒業生からの生の意見を反映させる工夫が必要となる。来年度は、薬学部、香川薬学部の 6 年制課程の第 1 回の卒業生、ならびに保健福祉学部においても第 1 回の卒業生を輩出する。これに向けて、全卒業生の満足度を的確に反映したデータが得られるようにアンケート項目の改良を行いたい。その上で、卒業生満足度評価アンケートが、徳島文理大学における学生生活がより満足度の高いものとなる資料として活用されるよう、単年度の集計にとどまらず、時系列的な変化を含めて分析を進めていく計画である。

## 7. おわりに

平成 19 年 12 月の FD 研究部会発足時より、3 年余りが経過した。その間、FD 研究部会では FD 活動を授業改善活動と認識し、授業改善の取組として、前章までで述べた 4 つの項目についての活動を推進してきた。本年度は基本的には前年度までの方針を継続した。それぞれの活動の計画(Plan)および実行(Do)に関してはこれまでの FD 活動の経験・成果を背景に、円滑に行うことが出来た。しかし、3 年を過ぎ、改良すべき点も次第に明らかとなった。具体的には本文中に改善計画として記載されているが、各活動の評価(Check)および改善(Action)に課題が残されている。評価および改善については時期を逸することなく、実行することが必要である。今後の FD 活動は FD 活動の評価体制の整備及び公開に力点を置いて推進したい。

# 付属資料-1

## FD 研究部会会議

- 1-1 FD 研究部会
- 1-2 FD 研究部会委員一覽表
- 1-3 FD 研究部会議事録(別 CD 資料)

## 平成 22 年度 FD 研究部会

第 24 回 FD 研究部会	平成 22 年 4 月 27 日
第 25 回 FD 研究部会	平成 22 年 5 月 26 日
第 26 回 FD 研究部会	平成 22 年 6 月 30 日
第 27 回 FD 研究部会	平成 22 年 7 月 28 日
第 28 回 FD 研究部会	平成 22 年 9 月 24 日
第 29 回 FD 研究部会	平成 22 年 11 月 5 日
第 30 回 FD 研究部会	平成 22 年 12 月 24 日
第 31 回 FD 研究部会	平成 23 年 2 月 7 日
第 32 回 FD 研究部会	平成 23 年 3 月 25 日

## 平成22年度 F D 研究部会委員一覧表

部会長	嶋本 典夫
委員	橋本 敏弘
〃	小林 郁典
〃	古田 昇
〃	橋田 誠一
〃	玉有 繁
〃	千葉さやか
〃	吉永 純子
〃	林 向達
事務局	中原 祐一
〃	新見 延安
〃	中村 修
〃	古田 澄恵
オブザーバー	藤木 博太

## 付属資料-2

### 研修会・講演会

- 2-1 研修会・講演会実施一覧(学内)
- 2-2 研修会・講演会参加一覧(学外)
- 2-3 T-SPOD 会議参加一覧
- 2-4 研修会・講演会プログラム及びアンケート(別 CD 資料)



### 研修会・講演会実施一覧(学内)

日 時	平成 23 年 3 月 22 日 (火) 15 : 00 ~ 16 : 50
場 所	徳島キャンパス 9 号館 6 階 9603 教室
講 師	小林 直人 (愛媛大学 教育・学生支援機構副機構長、教育企画室長)
演 題	教職員のための大人数講義法入門

### 研修会・講演会参加一覧(学外)

S P O D 研修会・フォーラム等参加平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月

開催日	名称	主催者	開催場所	参加者
平成 22 年 6 月 19 日～ 6 月 20 日	F D ファシリテーター 養成研修	徳島大学 大学教育委員 会・F D 専門委 員会・S P O D	国立淡路青少 年交流の家	薬学部 宗野 真和 小田 真隆
平成 22 年 7 月 8 日	学習動機を高める授業	香川大学 大学教育開発 センター	香川大学生涯 学習教育研究 センター	理工学部 祝 賢治
平成 22 年 7 月 29 日～ 7 月 30 日	大学人・社会人としての 基礎力養成プログラム 研修 (レベル II) S D	愛媛大学 教育学生支援機 構・S P O D	愛媛大学	アドミッション ズ・オフィス 安藝 誠二 廣瀬 勝盛
平成 22 年 8 月 27 日～ 8 月 28 日	S P O D フォーラム	四国地区大学 教職員能力開発 ネットワーク (S P O D)	愛媛大学	教育・研究支援 グループ 古田 澄恵
平成 22 年 9 月 1 日～ 9 月 2 日	授業デザイン ワークショップ	愛媛大学 教育学生支援機 構・S P O D	国立大洲青少 年交流の家	理工学部 祝 賢治

開催日	名称	主催者	開催場所	参加者
平成 22 年 9 月 10 日	グループ学習のコツ	四国地区大学 教職員能力開発 ネットワーク (SPOD)	愛媛大学	保健福祉学部 田頭 勝之
平成 22 年 12 月 11 日	広報トップセミナー	四国地区大学 教職員能力開発 ネットワーク (SPOD)	愛媛大学	アドミッション ズ・オフィス長 後藤 立男
平成 23 年 1 月 21 日	大学教育カンファレンス in 徳島	徳島大学 大学教育委員 会・FD専門委 員会・SPOD	徳島大学 開放実践 センター	文学部 古田 昇
平成 23 年 3 月 29 日	四国地区大学教職員能力 開発ネットワーク (SPOD) 総会	四国地区大学 教職員能力開発 ネットワーク (SPOD)	愛媛大学	教育・研究支援 グループ 新見 延安

2-3

### T-SPOD 会議参加一覧

開催日	名称	主催者	開催場所	参加者
平成 22 年 5 月 27 日 (木)	第 1 回 T-SPOD 会議	T-SPOD	徳島大学開放実践 センター	教育・研究支援 グループ 中原 祐一
平成 22 年 7 月 7 日 (水)	第 2 回 T-SPOD 会議	T-SPOD	徳島大学開放実践 センター	香川薬学部 嶋本 典夫
平成 22 年 11 月 18 日 (月)	第 3 回 T-SPOD 会議	T-SPOD	徳島大学開放実践 センター	香川薬学部 嶋本 典夫
平成 23 年 2 月 14 日 (月)	第 4 回 T-SPOD 会議	T-SPOD	徳島大学開放実践 センター	教育・研究支援 グループ 新見 延安

## 付属資料-3

### 全学授業評価アンケート

- 3- 1 平成 22(2010)年度 前期・学部全体
- 3- 2 平成 22(2010)年度 前期・短期大学部全体
- 3- 3 平成 22(2010)年度 前期・大学全体
- 3- 4 平成 22(2010)年度 後期・学部全体
- 3- 5 平成 22(2010)年度 後期・短期大学部全体
- 3- 6 平成 22(2010)年度 後期・大学全体
- 3- 7 フィードバック依頼文
- 3- 8 フィードバック様式
- 3- 9 その他アンケート及びフィードバックデータ(別 CD 資料)

#### 平成 22(2010)年度 前期授業評価アンケート

実施期間	平成 22 年 7 月 5 (月) ~ 7 月 26 日 (月)
実施科目	810 科目、40,131 枚
フィードバック	平成 22 年 10 月 1 日 (金) ~ 10 月 30 日 (土)
フィードバック回収率	92.8%

#### 平成 22(2010)年度 後期授業評価アンケート

実施期間	平成 22 年 12 月 1 日 (水) ~ 12 月 21 日 (火)
実施科目	635 科目、28,497 枚
フィードバック	平成 23 年 2 月 14 日 (月) ~ 3 月 14 日 (月)
フィードバック回収率	93.1%

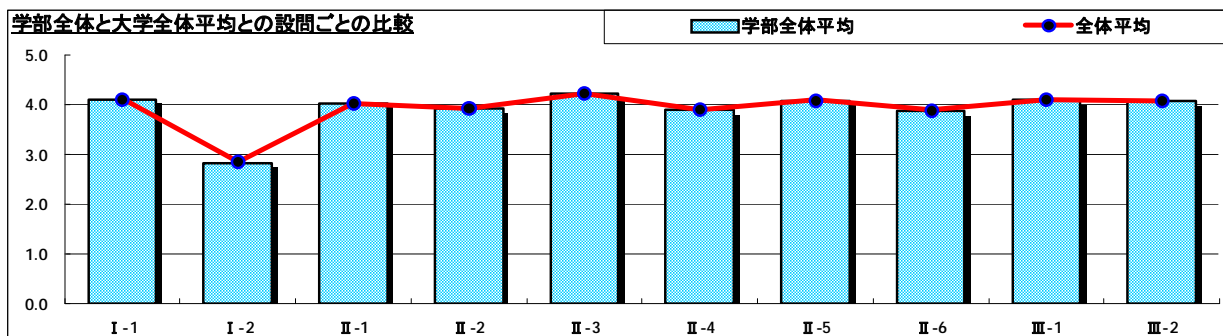
## 2010年度前期 授業に対する学生の評価アンケート集計結果(学部全体)

徳島文理大学

履修者数	35,703
回答者数	28,606

I. あなたの授業の取り組みについて									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	あなたはこの授業に集中し、理解しようと努めましたか	4.10	9,224 32.4%	14,171 49.7%	4,101 14.4%	716 2.5%	301 1.1%	28,513	93
2	あなたはこの授業に関して、予習復習を十分に行いましたか	2.83	2,410 8.5%	5,837 20.6%	9,849 34.7%	5,042 17.8%	5,232 18.4%	28,370	236
II. 授業内容及び方法について									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	授業内容は、シラバスにそっていましたか	4.03	9,072 31.9%	11,993 42.2%	6,664 23.4%	463 1.6%	249 0.9%	28,441	165
2	この授業の目標や内容は理解できましたか	3.91	7,659 26.9%	13,371 47.0%	5,278 18.5%	1,512 5.3%	651 2.3%	28,471	135
3	授業に対する教員の熱意は感じられましたか	4.21	12,345 43.4%	11,319 39.8%	3,733 13.1%	695 2.4%	383 1.3%	28,475	131
4	授業の進め方(話し方・速さ・板書)は適切でしたか	3.89	9,006 31.6%	11,019 38.7%	5,587 19.6%	2,010 7.1%	851 3.0%	28,473	133
5	教科書や教材(プリントや視聴覚教材)は効果的に利用されていましたか	4.08	10,770 37.8%	11,240 39.5%	4,854 17.1%	1,088 3.8%	515 1.8%	28,467	139
6	授業の説明はわかり易かったですか	3.87	8,708 30.6%	11,113 39.1%	5,754 20.2%	1,867 6.6%	976 3.4%	28,418	188
III. 授業全体について									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	この授業は新しい知識・技術の習得につながりましたか	4.09	10,382 36.6%	12,004 42.4%	4,620 16.3%	856 3.0%	466 1.6%	28,328	278
2	総合的に見て、この授業はよかったですか	4.06	10,413 36.8%	11,360 40.2%	4,876 17.2%	1,009 3.6%	615 2.2%	28,273	333
IV. 各学部用									
No.	設問文	全体平均点	回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1									
2									
3									
4									
5									

学部全体と大学全体平均との設問ごとの比較

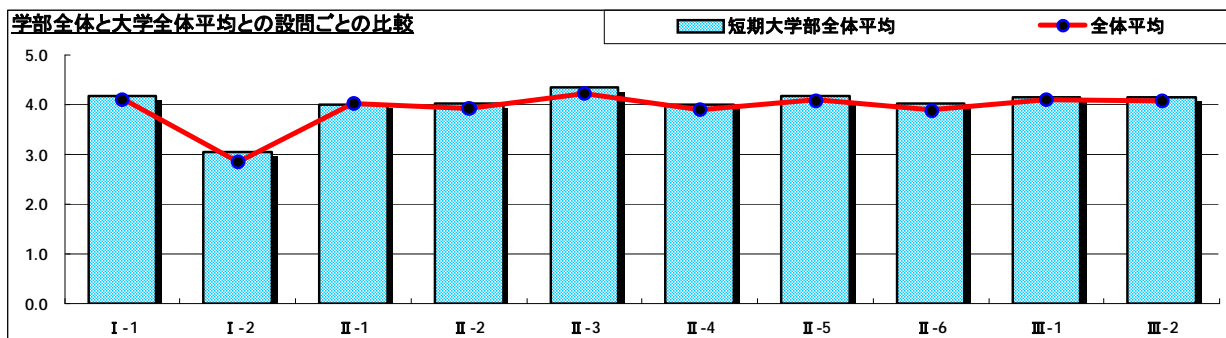


## 2010年度前期 授業に対する学生の評価アンケート集計結果(短期大学部全体) 徳島文理大学

履修者数	4,428
回答者数	3,730

I. あなたの授業の取り組みについて									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	あなたはこの授業に集中し、理解しようと努めましたか	4.18	1,335 35.9%	1,853 49.8%	427 11.5%	74 2.0%	30 0.8%	3,719	11
2	あなたはこの授業に関して、予習復習を十分に行いましたか	3.05	404 10.9%	876 23.6%	1,409 37.9%	567 15.2%	463 12.4%	3,719	11
II. 授業内容及び方法について									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	授業内容は、シラバスにそっていましたか	4.00	1,174 31.7%	1,524 41.1%	891 24.0%	82 2.2%	37 1.0%	3,708	22
2	この授業の目標や内容は理解できましたか	4.02	1,228 33.0%	1,660 44.6%	580 15.6%	182 4.9%	69 1.9%	3,719	11
3	授業に対する教員の熱意は感じられましたか	4.33	1,928 51.9%	1,279 34.4%	374 10.1%	92 2.5%	43 1.2%	3,716	14
4	授業の進め方(話し方・速さ・板書)は適切でしたか	4.00	1,368 36.8%	1,384 37.3%	644 17.3%	215 5.8%	103 2.8%	3,714	16
5	教科書や教材(プリントや視聴覚教材)は効果的に利用されていましたか	4.17	1,612 43.4%	1,388 37.4%	514 13.8%	125 3.4%	74 2.0%	3,713	17
6	授業の説明はわかり易かったですか	4.01	1,367 36.9%	1,421 38.3%	619 16.7%	187 5.0%	114 3.1%	3,708	22
III. 授業全体について									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	この授業は新しい知識・技術の習得につながりましたか	4.15	1,510 40.7%	1,484 40.0%	543 14.6%	107 2.9%	63 1.7%	3,707	23
2	総合的に見て、この授業はよかったですか	4.15	1,584 42.8%	1,376 37.2%	528 14.3%	142 3.8%	72 1.9%	3,702	28
IV. 各学部用									
No.	設問文	全体平均点	回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1									
2									
3									
4									
5									

学部全体と大学全体平均との設問ごとの比較

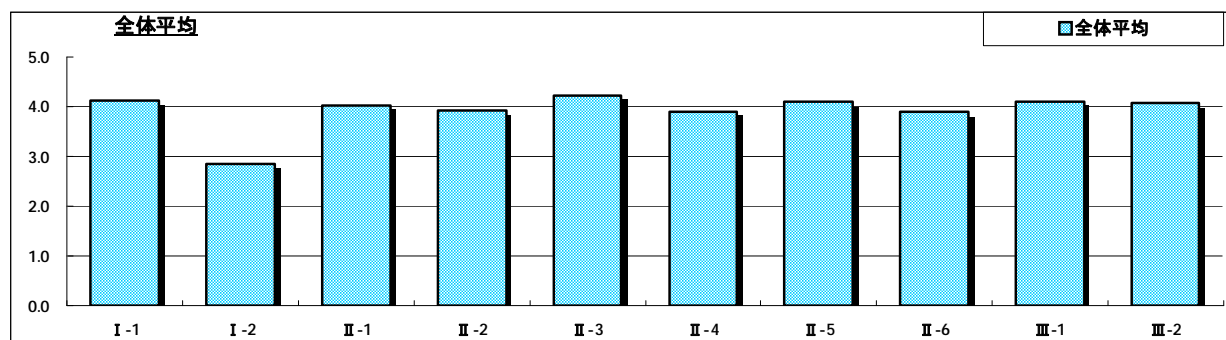


## 2010年度前期 授業に対する学生の評価アンケート集計結果(全体)

徳島文理大学

履修者数	40,131
回答者数	32,336

I. あなたの授業の取り組みについて									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	あなたはこの授業に集中し、理解しようと努めましたか	4.11	10,559 32.8%	16,024 49.7%	4,528 14.0%	790 2.5%	331 1.0%	32,232	104
2	あなたはこの授業に関して、予習復習を十分に行いましたか	2.85	2,814 8.8%	6,713 20.9%	11,258 35.1%	5,609 17.5%	5,695 17.7%	32,089	247
II. 授業内容及び方法について									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	授業内容は、シラバスにそっていましたか	4.02	10,246 31.9%	13,517 42.0%	7,555 23.5%	545 1.7%	286 0.9%	32,149	187
2	この授業の目標や内容は理解できましたか	3.92	8,887 27.6%	15,031 46.7%	5,858 18.2%	1,694 5.3%	720 2.2%	32,190	146
3	授業に対する教員の熱意は感じられましたか	4.23	14,273 44.3%	12,598 39.1%	4,107 12.8%	787 2.4%	426 1.3%	32,191	145
4	授業の進め方(話し方・速さ・板書)は適切でしたか	3.90	10,374 32.2%	12,403 38.5%	6,231 19.4%	2,225 6.9%	954 3.0%	32,187	149
5	教科書や教材(プリントや視聴覚教材)は効果的に利用されていましたか	4.09	12,382 38.5%	12,628 39.2%	5,368 16.7%	1,213 3.8%	589 1.8%	32,180	156
6	授業の説明はわかり易かったですか	3.89	10,075 31.4%	12,534 39.0%	6,373 19.8%	2,054 6.4%	1,090 3.4%	32,126	210
III. 授業全体について									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	この授業は新しい知識・技術の習得につながりましたか	4.10	11,892 37.1%	13,488 42.1%	5,163 16.1%	963 3.0%	529 1.7%	32,035	301
2	総合的に見て、この授業はよかったですか	4.07	11,997 37.5%	12,736 39.8%	5,404 16.9%	1,151 3.6%	687 2.1%	31,975	361
IV. 各学部用									
No.	設問文	全体平均点	回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1									
2									
3									
4									
5									



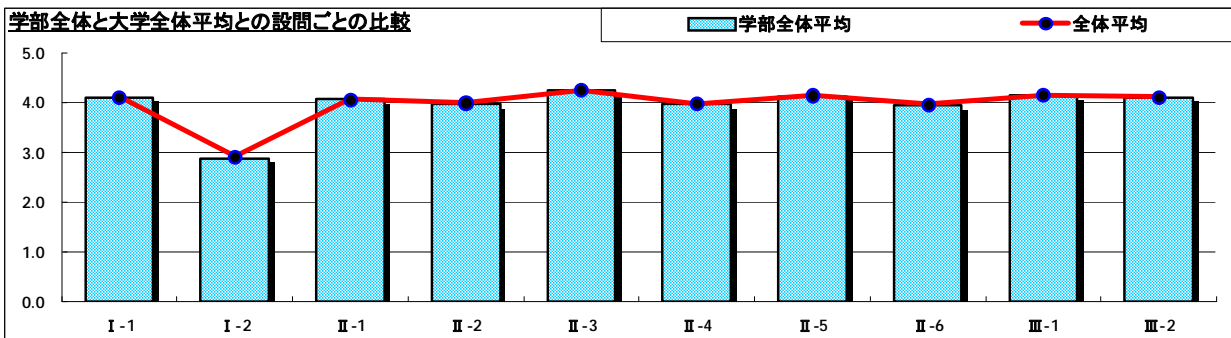
2010年度後期 授業に対する学生の評価アンケート集計結果(学部全体)

徳島文理大学

履修者数	25,246
回答者数	19,412

I. あなたの授業の取り組みについて									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	あなたはこの授業に集中し、理解しようと努めましたか	4.10	6,085 31.4%	9,916 51.2%	2,792 14.4%	443 2.3%	131 0.7%	19,367	45
2	あなたはこの授業に関して、予習復習を十分に行いましたか	2.88	1,621 8.4%	4,381 22.7%	6,655 34.5%	3,269 16.9%	3,382 17.5%	19,308	104
II. 授業内容及び方法について									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	授業内容は、シラバスにそっていましたか	4.05	6,208 32.1%	8,461 43.8%	4,299 22.2%	238 1.2%	124 0.6%	19,330	82
2	この授業の目標や内容は理解できましたか	3.97	5,503 28.4%	9,243 47.8%	3,410 17.6%	905 4.7%	287 1.5%	19,348	64
3	授業に対する教員の熱意は感じられましたか	4.24	8,493 43.9%	7,695 39.8%	2,582 13.3%	404 2.1%	169 0.9%	19,343	69
4	授業の進め方(話し方・速さ・板書)は適切でしたか	3.96	6,345 32.8%	7,757 40.1%	3,696 19.1%	1,153 6.0%	390 2.0%	19,341	71
5	教科書や教材(プリントや視聴覚教材)は効果的に利用されていましたか	4.12	7,641 39.5%	7,644 39.5%	3,123 16.2%	651 3.4%	277 1.4%	19,336	76
6	授業の説明はわかり易かったですか	3.93	6,108 31.6%	7,823 40.5%	3,835 19.9%	1,080 5.6%	458 2.4%	19,304	108
III. 授業全体について									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	この授業は新しい知識・技術の習得につながりましたか	4.14	7,238 37.6%	8,311 43.1%	3,012 15.6%	504 2.6%	205 1.1%	19,270	142
2	総合的に見て、この授業はよかったですか	4.10	7,167 37.2%	7,967 41.4%	3,262 17.0%	586 3.0%	262 1.4%	19,244	168
IV. 各学部用									
No.	設問文	全体平均点	回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1									
2									
3									
4									
5									

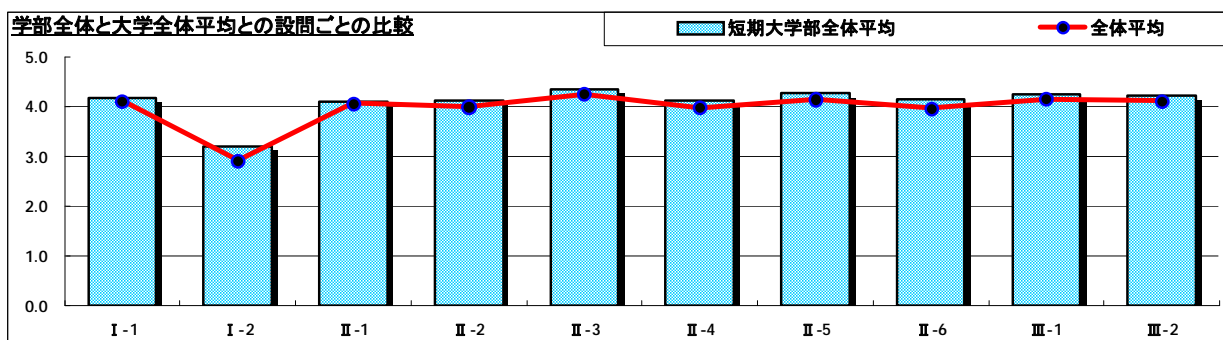
学部全体と大学全体平均との設問ごとの比較



2010年度後期 授業に対する学生の評価アンケート集計結果(短期大学部全体) 徳島文理大学

履修者数	3,251
回答者数	2,582

I あなたの授業の取り組みについて									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	あなたはこの授業に集中し、理解しようと努めましたか	4.18	926 36.0%	1,270 49.3%	317 12.3%	42 1.6%	20 0.8%	2,575	7
2	あなたはこの授業に関して、予習復習を十分に行いましたか	3.20	366 14.2%	698 27.1%	876 34.0%	371 14.4%	266 10.3%	2,577	5
II 授業内容及び方法について									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	授業内容は、シラバスにそっていましたか	4.10	873 34.0%	1,149 44.7%	502 19.5%	32 1.2%	14 0.5%	2,570	12
2	この授業の目標や内容は理解できましたか	4.13	944 36.7%	1,159 45.0%	364 14.1%	78 3.0%	30 1.2%	2,575	7
3	授業に対する教員の熱意は感じられましたか	4.35	1,293 50.2%	960 37.3%	252 9.8%	56 2.2%	13 0.5%	2,574	8
4	授業の進め方(話し方・速さ・板書)は適切でしたか	4.11	1,033 40.1%	990 38.4%	401 15.6%	108 4.2%	44 1.7%	2,576	6
5	教科書や教材(プリントや視聴覚教材)は効果的に利用されていましたか	4.26	1,209 47.0%	926 36.0%	365 14.2%	58 2.3%	17 0.7%	2,575	7
6	授業の説明はわかり易かったですか	4.14	1,051 40.8%	1,010 39.3%	372 14.5%	96 3.7%	44 1.7%	2,573	9
III 授業全体について									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	この授業は新しい知識・技術の習得につながりましたか	4.24	1,104 43.0%	1,059 41.2%	335 13.0%	47 1.8%	23 0.9%	2,568	14
2	総合的に見て、この授業はよかったですか	4.22	1,132 44.2%	974 38.0%	369 14.4%	57 2.2%	30 1.2%	2,562	20
IV 各学部用									
No.	設問文	全体平均点	回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1									
2									
3									
4									
5									



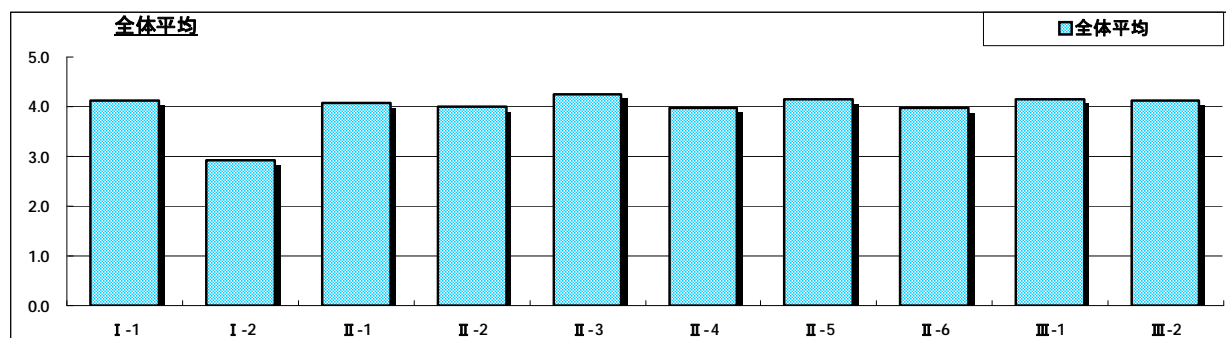


## 2010年度後期 授業に対する学生の評価アンケート集計結果(全体)

徳島文理大学

履修者数	28,497
回答者数	21,994

I. あなたの授業の取り組みについて									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	あなたはこの授業に集中し、理解しようと努めましたか	4.11	7,011 32.0%	11,186 51.0%	3,109 14.2%	485 2.2%	151 0.7%	21,942	52
2	あなたはこの授業に関して、予習復習を十分に行いましたか	2.91	1,987 9.1%	5,079 23.2%	7,531 34.4%	3,640 16.6%	3,648 16.7%	21,885	109
II. 授業内容及び方法について									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	授業内容は、シラバスにそっていましたか	4.06	7,081 32.3%	9,610 43.9%	4,801 21.9%	270 1.2%	138 0.6%	21,900	94
2	この授業の目標や内容は理解できましたか	3.99	6,447 29.4%	10,402 47.4%	3,774 17.2%	983 4.5%	317 1.4%	21,923	71
3	授業に対する教員の熱意は感じられましたか	4.25	9,786 44.7%	8,655 39.5%	2,834 12.9%	460 2.1%	182 0.8%	21,917	77
4	授業の進め方(話し方・速さ・板書)は適切でしたか	3.98	7,378 33.7%	8,747 39.9%	4,097 18.7%	1,261 5.8%	434 2.0%	21,917	77
5	教科書や教材(プリントや視聴覚教材)は効果的に利用されていましたか	4.14	8,850 40.4%	8,570 39.1%	3,488 15.9%	709 3.2%	294 1.3%	21,911	83
6	授業の説明はわかり易かったですか	3.96	7,159 32.7%	8,833 40.4%	4,207 19.2%	1,176 5.4%	502 2.3%	21,877	117
III. 授業全体について									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	この授業は新しい知識・技術の習得につながりましたか	4.15	8,342 38.2%	9,370 42.9%	3,347 15.3%	551 2.5%	228 1.0%	21,838	156
2	総合的に見て、この授業はよかったですか	4.11	8,299 38.1%	8,941 41.0%	3,631 16.7%	643 2.9%	292 1.3%	21,806	188
IV. 各学部用									
No.	設問文	全体平均点	回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1									
2									
3									
4									
5									



教 員 各 位

FD 研究部会長 〇〇 〇〇

## 授業評価アンケートに対する教員のフィードバックのお願い

学生による授業評価アンケートの実施につきましては、ご理解ご協力を賜りありがとうございます。

学生による授業評価アンケートが、授業改善に大いに貢献していることは疑いの無いことと教員側では認識しています。しかしながら、授業評価アンケート結果が実際に活用されているにも関わらず、学生からは改善点が明瞭には見えていなかったことも事実と存じます。授業評価アンケートは、見方を変えると、学生の授業に対する要望であり、その要望に対して明確な返答をすることが、学生との信頼関係をさらに強固なものとし、結果としてより良い授業へ進展すると FD 研究部会では結論いたしました。

そこで、より良い授業をおこない、加えて、より良い外部評価を得るために、教員の方々にはアンケート結果に対する返答（フィードバック）をお願い致したく存じます。つきましては、各先生方はアンケート集計結果をご覧になった後、添付のフィードバック表にご入力いただき、下記アドレスへご送信願います。

なお、アンケート集計結果とフィードバック表を以下のように活用いたしたいと存じます。

- ① 個々の授業評価アンケート結果については、担当教員が授業対象の学生に、集計結果とフィードバック表を対にして、〇〇月〇〇日～〇〇月〇〇日の間開示して下さい。

（例：各先生の研究室前に掲示するなど工夫してください）

- ② 集計結果とフィードバックは、学部あるいは学科としてまとめ、基本的には公表（冊子体、インターネット等）する。

\* 提 出 先 : 徳島キャンパス [kyokeng@tokushima.bunri-u.ac.jp](mailto:kyokeng@tokushima.bunri-u.ac.jp)

香川キャンパス [handa@kagawa.bunri-u.ac.jp](mailto:handa@kagawa.bunri-u.ac.jp)

\* 締 め 切 り : 〇〇月〇〇日 (○)

\* ファイル名 : 科目番号 担当教員名

半角数字

今後の更なる授業改善のため、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

**学生による授業評価アンケートに対する教員のフィードバック(様式)**

授 業 年 度 : 科 目 名 : 科目コード :	教 員 名 :
1) 結果に対する意見・感想	
2) 結果を踏まえた来年度授業の改善点	
3) その他(これまでの授業評価アンケート結果を踏まえての改善点など)	

## 付属資料-4

### 研究授業

- 4-1 平成 22(2010)年度 前期 研究授業一覧
- 4-2 平成 22(2010)年度 後期 研究授業一覧
- 4-3 研究授業の記録(様式)
- 4-4 研究授業の記録(別 CD 資料)

#### 平成 22(2010)年度 前期研究授業

実施期間	平成 22 年 6 月 10 日 (木) ~平成 22 年 7 月 14 日 (水)
実施科目	17 科目

#### 平成 22(2010)年度 後期研究授業

実施期間	平成 22 年 10 月 7 日 (木) ~平成 22 年 12 月 21 日 (火)
実施科目	12 科目

## 平成22年度前期 研究授業(教員相互の授業参観)一覧

FD研究部会

## 徳島キャンパス

授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	シラバス 科目番号	授業者	教室
6月10日	木	5	人間生活	建築デザイン	建築計画論	10052	北森 正信	231107
6月16日	水	5	人間生活	食物栄養	生化学I	54851	佐伯 武頼	9202
6月18日	金	3	薬学部	薬学科	薬理学2	00081	福石 信之	24301
6月17日	木	2	人間生活	メディアデザイン	コンピューター基礎論	54524	長濱 太造	25号館 3階ラボ
6月21日	月	4	短期大学部	言語コミュニケーション学科	ことばと表現	54214	辻野 正人	9202
6月23日	水	3	保健福祉学部	人間福祉	高齢者に対する支援と介護保険制度1	10299	佐々木 隆夫	3号館11階 ゼミ室
6月24日	木	2	人間生活	児童	理科	55067	岩井 博	9301
6月24日	木	2	短期大学部	商科	PC文書作成実習 I	54124	椿本 晃久	9501
6月25日	金	4	保健福祉学部	看護	小児看護学援助論	10077	鈴木 智子	3103
6月29日	火	1	人間生活	心理	心理学概論	54648	松本 博次	9603
7月2日	金	3	人間生活	人間生活	食品学	54883	野間 義明	9201
7月6日	火	2	総合政策学部	総合政策学科	会計学ベーシック I	54585	齋藤 敦	23204
7月14日	水	4	音楽学部	音楽科	実技B・C(声楽)	55361	稲富祐香子	5610

## 香川キャンパス

授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	シラバス 科目番号	授業者	教室
6月11日	金	3	文	英語英米言語文化	英語読解法Ⅲ	00071	中島 正太	LL
6月15日	火	2	理工	機械創造工	熱力学	00026	下津 正輝	301
6月25日	金	2	理工	臨床工	応用物理学	00099	村松 信一	201
6月28日	月	2	香川薬学部	薬・薬科	物理化学2	00035	山口健太郎	121

## 平成22年度後期 研究授業(教員相互の授業参観)一覧

FD研究部会

## 徳島キャンパス

授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	シラバス 科目番号	授業者	教室
10月27日	水	3	保健福祉学部	理学療法学科	医療と福祉	00026	小嶋 裕	23302
10月29日	金	3	薬学部	薬学科	生化学 I	00079	畠山 大	24201
11月9日	火	2	短期大学部	音楽科	ポピュラー音楽理論	45052	原井 俊典	5712
11月10日	水	1	音楽	音楽	実技A(ピアノ)	55386	村崎 和子	51007室
11月15日	月	4	保健福祉学部	人間福祉学科	児童や家庭に対する支援 と児童・家庭福祉制度Ⅱ	10337	岩城 由幸	3-11ゼミ⑩
12月2日	木	3	薬学部	薬学科	英語B①	54947	大岩 秀紀	2509①
12月3日	金	3	総合政策学部	総合政策学科	地方行政論	54807	玉有 繁	23301
12月21日	火	3	保健福祉学部	看護学科	看護技術Ⅲ	10187	佐々木よし美	3103

## 香川キャンパス

授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	シラバス 科目番号	授業者	教室
10月7日	木	3	理工	電子情報工	応用情報システム工学B	00013	菊池 浩三	ターミナル3
10月21日	木	1	香川薬学部	薬・薬科	衛生化学1	00002	田元 浩一	121
11月29日	月	2	理工	ナノ物質工	工業物理学Ⅱ	00074	松田 和典	3230
11月30日	火	4	文	文化財	日本美術史	00036	濱田 宣	図5F講1

研究授業（教員相互の授業参観）記録			
学 部		学 科	
授 業 者		科 目 名 (授 業 形 態)	
授 業 協 力 者		科 目 コ ー ド	
日 時	平成	年	月 日 曜日 講時
対 象 学 生			
授 業 テ ー マ			
研究授業内容自己評価			
研究授業参観者の意見・感想			
授 業 参 観 者 数	名		

## 付属資料-5

### 卒業生満足度評価アンケート

- 5-1 平成 22(2010)年度 学部全体
- 5-2 平成 22(2010)年度 短期大学部全体
- 5-3 平成 22(2010)年度 大学全体
- 5-4 平成 22(2010)年度 大学院全体
- 5-5 平成 22(2010)年度 専攻科全体
- 5-6 平成 22(2010)年度 学部学科別データ(別 CD 資料)
- 5-7 平成 22(2010)年度 その他の実施に関するデータ(別 CD 資料)

平成 22(2010)年度

実施期間	平成 23 年 3 月 15 日 (火) ~平成 23 年 3 月 17 日 (木)
実施学科	47 学科・専攻科・研究科、827 名



2010年度 卒業生満足度評価アンケート集計結果(学部全体)

徳島文理大学

対象者数	599
回答者数	531

I. 記入者について

性別	男性	女性	無効
	268	262	1
	50.5%	49.3%	0.2%

クラブ サークル	体育系	文化系	同好会	その他	所属なし	無効
	103	82	42	35	259	10
	19.4%	15.4%	7.9%	6.6%	48.8%	1.9%

在学中の 住居	自宅	下宿・アパート	学生寮	その他	無効
	221	304	1	2	3
	41.6%	57.3%	0.2%	0.4%	0.6%

卒業後の 進路	会社員	公務員	自営業	進学	未定	無効
	260	63	10	41	137	20
	49.0%	11.9%	1.9%	7.7%	25.8%	3.8%

II. 授業・教育課程について(全体として)

No.	設問文	学部全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	授業科目は充実していましたか	4.20	206 38.8%	253 47.6%	50 9.4%	16 3.0%	6 1.1%	531	0
2	授業や実習内容がわかりやすかったですか	4.08	156 29.4%	279 52.6%	79 14.9%	12 2.3%	4 0.8%	530	1
3	専門的な知識や技能を身につけることができましたか	4.22	219 41.5%	227 43.0%	65 12.3%	14 2.7%	3 0.6%	528	3
4	教育に対する教員の熱意は感じられましたか	4.34	242 46.0%	231 43.9%	47 8.9%	3 0.6%	3 0.6%	526	5
5	免許・資格を取得する課程は充実していましたか	4.05	204 38.6%	195 36.9%	92 17.4%	29 5.5%	9 1.7%	529	2

III. 大学の施設および支援体制について

No.	設問文	学部全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	科目の履修についての支援は役に立ちましたか	4.12	192 36.4%	222 42.1%	100 19.0%	11 2.1%	2 0.4%	527	4
2	就職(進学)についての支援は役に立ちましたか	3.98	199 37.5%	184 34.7%	102 19.2%	28 5.3%	17 3.2%	530	1
3	保健センターは利用しやすかったですか	3.38	94 17.7%	128 24.1%	220 41.4%	64 12.1%	25 4.7%	531	0
4	体育施設は充実していましたか	3.83	170 32.3%	154 29.2%	157 29.8%	35 6.6%	11 2.1%	527	4
5	図書館は利用しやすかったですか	4.20	247 46.6%	172 32.5%	84 15.8%	22 4.2%	5 0.9%	530	1
6	情報設備やソフトウェアは利用しやすかったですか	3.98	174 32.8%	210 39.5%	113 21.3%	28 5.3%	6 1.1%	531	0
7	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	4.09	183 34.6%	231 43.7%	97 18.3%	14 2.6%	4 0.8%	529	2
8	食堂や購買・コンビニは利用しやすかったですか	4.18	244 46.0%	181 34.1%	74 13.9%	20 3.8%	12 2.3%	531	0
9	経済支援(奨学金等)の体制は整っていましたか	3.85	156 29.7%	165 31.4%	186 35.4%	10 1.9%	9 1.7%	526	5

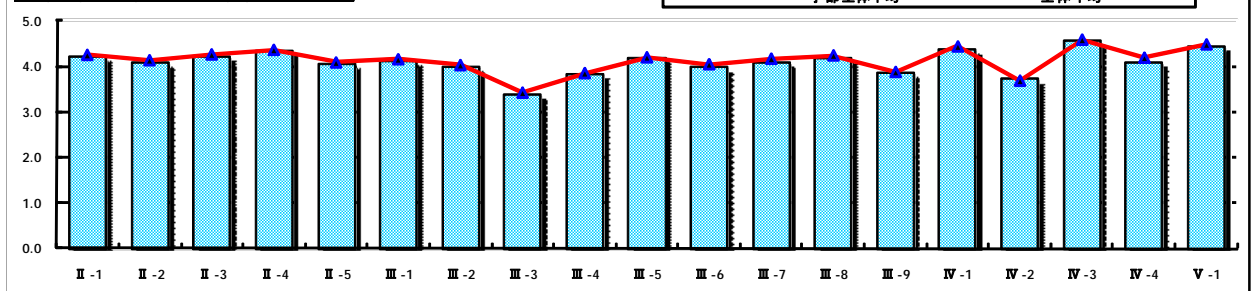
IV. キャンパスライフについて

No.	設問文	学部全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	キャンパスは清潔でしたか	4.37	277 52.2%	189 35.6%	53 10.0%	7 1.3%	5 0.9%	531	0
2	クラブやサークル活動は参加しやすかったですか	3.72	175 33.1%	117 22.1%	176 33.3%	35 6.6%	26 4.9%	529	2
3	信頼できる教員や友人に出会えましたか	4.57	351 66.1%	139 26.2%	36 6.8%	2 0.4%	3 0.6%	531	0
4	大学周辺の生活環境はよかったですか	4.10	229 43.5%	175 33.2%	84 15.9%	23 4.4%	16 3.0%	527	4

V. 総合評価

No.	設問文	学部全体 平均点	回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	4.44	300 58.0%	161 31.1%	43 8.3%	10 1.9%	3 0.6%	517	14

学部全体と全体平均との設問ごとの比較



2010年度 卒業生満足度評価アンケート集計結果(短期大学部全体)

徳島文理大学

対象者数	138
回答者数	127

I. 記入者について

性別	男性	女性	無効
	8 6.3%	118 92.9%	1 0.8%

クラブ サークル	体育系	文化系	同好会	その他	所属なし	無効
	14 11.0%	4 3.1%	4 3.1%	12 9.4%	89 70.1%	4 3.1%

在学中の 住居	自宅	下宿・アパート	学生寮	その他	無効
	89 70.1%	34 26.8%	3 2.4%	0 0.0%	1 0.8%

卒業後の 進路	会社員	公務員	自営業	進学	未定	無効
	76 59.8%	1 0.8%	2 1.6%	9 7.1%	36 28.3%	3 2.4%

II. 授業・教育課程について(全体として)

No.	設問文	短大全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	授業科目は充実していましたか	4.48	70 55.6%	51 40.5%	2 1.6%	2 1.6%	1 0.8%	126	1
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	4.38	55 43.3%	66 52.0%	5 3.9%	1 0.8%	0 0.0%	127	0
3	専門的な知識や技能を身につけることができましたか	4.44	69 54.8%	46 36.5%	9 7.1%	2 1.6%	0 0.0%	126	1
4	教育に対する教員の熱意は感じられましたか	4.46	68 54.0%	49 38.9%	8 6.3%	1 0.8%	0 0.0%	126	1
5	免許・資格を取得する課程は充実していましたか	4.24	63 49.6%	42 33.1%	13 10.2%	7 5.5%	2 1.6%	127	0

III. 大学の施設および支援体制について

No.	設問文	短大全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	科目の履修についての支援は役に立ちましたか	4.31	54 42.5%	59 46.5%	13 10.2%	1 0.8%	0 0.0%	127	0
2	就職(進学)についての支援は役に立ちましたか	4.23	57 44.9%	50 39.4%	15 11.8%	2 1.6%	3 2.4%	127	0
3	保健センターは利用しやすかったですか	3.59	26 20.8%	39 31.2%	45 36.0%	13 10.4%	2 1.6%	125	2
4	体育施設は充実していましたか	3.94	44 34.6%	39 30.7%	39 30.7%	3 2.4%	2 1.6%	127	0
5	図書館は利用しやすかったですか	4.22	54 42.5%	49 38.6%	22 17.3%	2 1.6%	0 0.0%	127	0
6	情報設備やソフトウェアは利用しやすかったですか	4.35	62 48.8%	48 37.8%	16 12.6%	1 0.8%	0 0.0%	127	0
7	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	4.51	72 56.7%	49 38.6%	5 3.9%	1 0.8%	0 0.0%	127	0
8	食堂や購買・コンビニは利用しやすかったですか	4.52	79 62.2%	39 30.7%	6 4.7%	2 1.6%	1 0.8%	127	0
9	経済支援(奨学金等)の体制は整っていましたか	3.98	40 31.5%	46 36.2%	40 31.5%	0 0.0%	1 0.8%	127	0

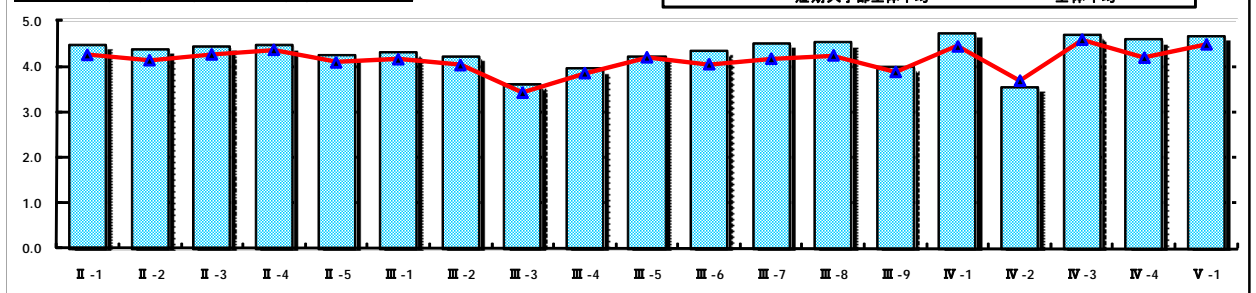
IV. キャンパスライフについて

No.	設問文	短大全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	キャンパスは清潔でしたか	4.74	96 75.6%	29 22.8%	2 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	127	0
2	クラブやサークル活動は参加しやすかったですか	3.55	26 20.6%	33 26.2%	57 45.2%	4 3.2%	6 4.8%	126	1
3	信頼できる教員や友人に出会えましたか	4.68	93 73.8%	27 21.4%	5 4.0%	1 0.8%	0 0.0%	126	1
4	大学周辺の生活環境はよかったですか	4.59	80 63.5%	40 31.7%	6 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	126	1

V. 総合評価

No.	設問文	短大全体 平均点	回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	4.67	91 73.4%	28 22.6%	3 2.4%	1 0.8%	1 0.8%	124	3

短期大学部全体と全体平均との設問ごとの比較



2010年度 卒業生満足度評価アンケート集計結果(全体)

徳島文理大学

対象者数	737
回答者数	658

I. 記入者について

性別	男性	女性	無効
	276	380	2
	41.9%	57.8%	0.3%

クラブ サークル	体育系	文化系	同好会	その他	所属なし	無効
	117	86	46	47	348	14
	17.8%	13.1%	7.0%	7.1%	52.9%	2.1%

在学中の 住居	自宅	下宿・アパート	学生寮	その他	無効
	310	338	4	2	4
	47.1%	51.4%	0.6%	0.3%	0.6%

卒業後の 進路	会社員	公務員	自営業	進学	未定	無効
	336	64	12	50	173	23
	51.1%	9.7%	1.8%	7.6%	26.3%	3.5%

II. 授業・教育課程について(全体として)

No.	設問文	全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
			1	授業科目は充実していましたか	4.25	276 42.0%	304 46.3%		
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	4.14	211 32.1%	345 52.5%	84 12.8%	13 2.0%	4 0.6%	657	1
3	専門的な知識や技能を身につけることができましたか	4.26	288 44.0%	273 41.7%	74 11.3%	16 2.4%	3 0.5%	654	4
4	教育に対する教員の熱意は感じられましたか	4.37	310 47.5%	280 42.9%	55 8.4%	4 0.6%	3 0.5%	652	6
5	免許・資格を取得する課程は充実していましたか	4.09	267 40.7%	237 36.1%	105 16.0%	36 5.5%	11 1.7%	656	2

III. 大学の施設および支援体制について

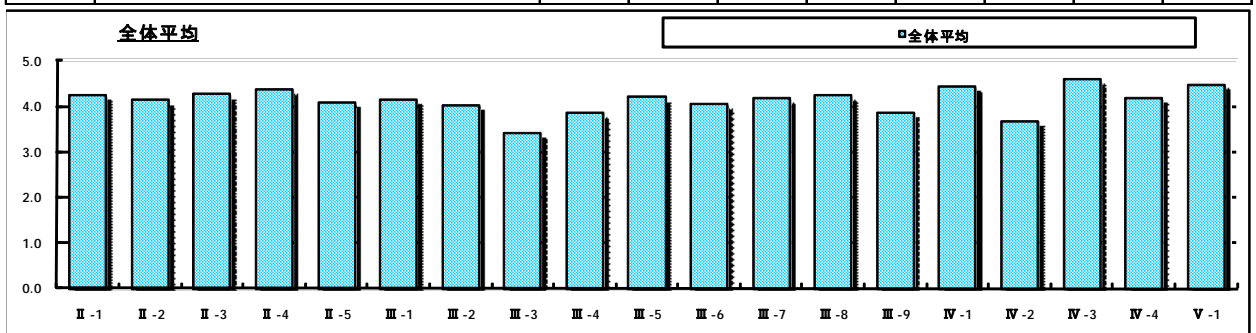
No.	設問文	全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
			1	科目の履修についての支援は役に立ちましたか	4.16	246 37.6%	281 43.0%		
2	就職(進学)についての支援は役に立ちましたか	4.03	256 39.0%	234 35.6%	117 17.8%	30 4.6%	20 3.0%	657	1
3	保健センターは利用しやすかったですか	3.42	120 18.3%	167 25.5%	265 40.4%	77 11.7%	27 4.1%	656	2
4	体育施設は充実していましたか	3.85	214 32.7%	193 29.5%	196 30.0%	38 5.8%	13 2.0%	654	4
5	図書館は利用しやすかったですか	4.20	301 45.8%	221 33.6%	106 16.1%	24 3.7%	5 0.8%	657	1
6	情報設備やソフトウェアは利用しやすかったですか	4.05	236 35.9%	258 39.2%	129 19.6%	29 4.4%	6 0.9%	658	0
7	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	4.17	255 38.9%	280 42.7%	102 15.5%	15 2.3%	4 0.6%	656	2
8	食堂や購買・コンビニは利用しやすかったですか	4.24	323 49.1%	220 33.4%	80 12.2%	22 3.3%	13 2.0%	658	0
9	経済支援(奨学金等)の体制は整っていましたか	3.88	196 30.0%	211 32.3%	226 34.6%	10 1.5%	10 1.5%	653	5

IV. キャンパスライフについて

No.	設問文	全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
			1	キャンパスは清潔でしたか	4.44	373 56.7%	218 33.1%		
2	クラブやサークル活動は参加しやすかったですか	3.69	201 30.7%	150 22.9%	233 35.6%	39 6.0%	32 4.9%	655	3
3	信頼できる教員や友人に出会えましたか	4.59	444 67.6%	166 25.3%	41 6.2%	3 0.5%	3 0.5%	657	1
4	大学周辺の生活環境はよかったですか	4.19	309 47.3%	215 32.9%	90 13.8%	23 3.5%	16 2.5%	653	5

V. 総合評価

No.	設問文	全体 平均点	回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
			1	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	4.49	391 61.0%	189 29.5%		



2010年度 卒業生満足度評価アンケート集計結果(大学院全体)

徳島文理大学

対象者数	70
回答者数	56

I. 記入者について

性別	男性	女性	無効
	39 69.6%	17 30.4%	0 0.0%

クラブ サークル	体育系	文化系	同好会	その他	所属なし	無効
	11 19.6%	5 8.9%	3 5.4%	3 5.4%	34 60.7%	0 0.0%

在学中の 住居	自宅	下宿・アパート	学生寮	その他	無効
	10 17.9%	46 82.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

卒業後の 進路	会社員	公務員	自営業	進学	未定	無効
	38 67.9%	7 12.5%	0 0.0%	4 7.1%	7 12.5%	0 0.0%

II. 授業・教育課程について(全体として)

No.	設問文	大学院全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	授業科目は充実していましたか	4.14	21 37.5%	23 41.1%	11 19.6%	1 1.8%	0 0.0%	56	0
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	4.27	23 41.1%	26 46.4%	6 10.7%	1 1.8%	0 0.0%	56	0
3	専門的な知識や技能を身につけることができましたか	4.43	30 53.6%	21 37.5%	4 7.1%	1 1.8%	0 0.0%	56	0
4	教育に対する教員の熱意は感じられましたか	4.39	29 51.8%	20 35.7%	7 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	56	0
5	免許・資格を取得する課程は充実していましたか	4.05	23 41.8%	15 27.3%	14 25.5%	3 5.5%	0 0.0%	55	1

III. 大学の施設および支援体制について

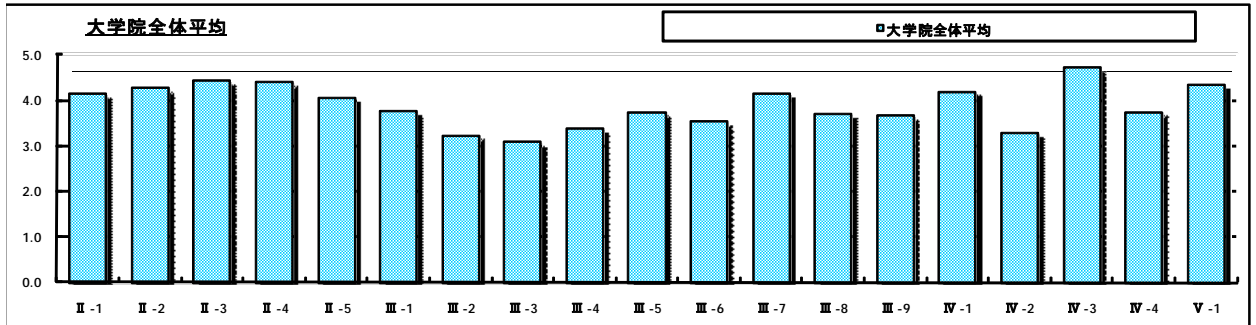
No.	設問文	大学院全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	科目の履修についての支援は役に立ちましたか	3.77	13 23.2%	20 35.7%	20 35.7%	3 5.4%	0 0.0%	56	0
2	就職(進学)についての支援は役に立ちましたか	3.24	10 18.2%	10 18.2%	23 41.8%	7 12.7%	5 9.1%	55	1
3	保健センターは利用しやすかったですか	3.09	7 13.0%	7 13.0%	27 50.0%	10 18.5%	3 5.6%	54	2
4	体育施設は充実していましたか	3.38	7 12.7%	14 25.5%	28 50.9%	5 9.1%	1 1.8%	55	1
5	図書館は利用しやすかったですか	3.75	13 23.2%	25 44.6%	12 21.4%	3 5.4%	3 5.4%	56	0
6	情報設備やソフトウェアは利用しやすかったですか	3.55	12 21.8%	16 29.1%	19 34.5%	6 10.9%	2 3.6%	55	1
7	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	4.16	22 39.3%	24 42.9%	7 12.5%	3 5.4%	0 0.0%	56	0
8	食堂や購買・コンビニは利用しやすかったですか	3.71	16 28.6%	20 35.7%	11 19.6%	6 10.7%	3 5.4%	56	0
9	経済支援(奨学金等)の体制は整っていましたか	3.66	11 19.6%	22 39.3%	18 32.1%	3 5.4%	2 3.6%	56	0

IV. キャンパスライフについて

No.	設問文	大学院全体 平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	キャンパスは清潔でしたか	4.20	26 46.4%	17 30.4%	11 19.6%	2 3.6%	0 0.0%	56	0
2	クラブやサークル活動は参加しやすかったですか	3.29	6 10.9%	9 16.4%	36 65.5%	3 5.5%	1 1.8%	55	1
3	信頼できる教員や友人に出会えましたか	4.71	43 76.8%	10 17.9%	3 5.4%	0 0.0%	0 0.0%	56	0
4	大学周辺の生活環境はよかったですか	3.75	15 26.8%	24 42.9%	8 14.3%	6 10.7%	3 5.4%	56	0

V. 総合評価

No.	設問文	大学院全体 平均点	回答率(%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	4.36	24 42.9%	28 50.0%	4 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	56	0



2010年度 卒業生満足度評価アンケート集計結果(専攻科全体)

徳島文理大学

対象者数	20
回答者数	19

I. 記入者について

性別	男性	女性	無効
	12	7	0
	63.2%	36.8%	0.0%

クラブ サークル	体育系	文化系	同好会	その他	所属なし	無効
	3	3	2	1	10	0
	15.8%	15.8%	10.5%	5.3%	52.6%	0.0%

在学中の 住居	自宅	下宿・アパート	学生寮	その他	無効
	6	13	0	0	0
	31.6%	68.4%	0.0%	0.0%	0.0%

卒業後の 進路	会社員	公務員	自営業	進学	未定	無効
	3	8	0	0	8	0
	15.8%	42.1%	0.0%	0.0%	42.1%	0.0%

II. 授業・教育課程について(全体として)

No.	設問文	専攻科全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	授業科目は充実していましたか	4.05	8 42.1%	7 36.8%	1 5.3%	3 15.8%	0 0.0%	19	0
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	3.95	5 26.3%	10 52.6%	2 10.5%	2 10.5%	0 0.0%	19	0
3	専門的な知識や技能を身につけることができましたか	4.42	10 52.6%	8 42.1%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	19	0
4	教育に対する教員の熱意は感じられましたか	4.16	9 47.4%	6 31.6%	2 10.5%	2 10.5%	0 0.0%	19	0
5	免許・資格を取得する課程は充実していましたか	4.26	10 52.6%	6 31.6%	2 10.5%	0 0.0%	1 5.3%	19	0

III. 大学の施設および支援体制について

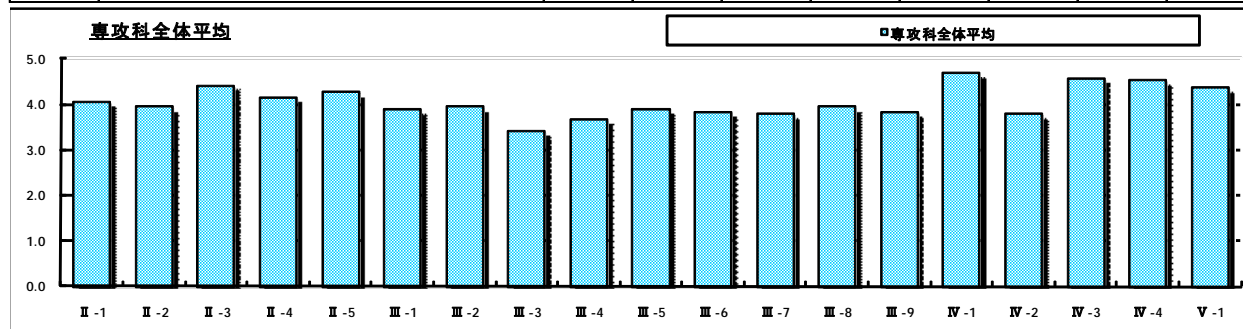
No.	設問文	専攻科全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	科目の履修についての支援は役に立ちましたか	3.89	6 31.6%	8 42.1%	3 15.8%	1 5.3%	1 5.3%	19	0
2	就職(進学)についての支援は役に立ちましたか	3.95	8 42.1%	5 26.3%	4 21.1%	1 5.3%	1 5.3%	19	0
3	保健センターは利用しやすかったですか	3.42	6 31.6%	4 21.1%	4 21.1%	2 10.5%	3 15.8%	19	0
4	体育施設は充実していましたか	3.68	7 36.8%	3 15.8%	6 31.6%	2 10.5%	1 5.3%	19	0
5	図書館は利用しやすかったですか	3.89	8 42.1%	5 26.3%	3 15.8%	2 10.5%	1 5.3%	19	0
6	情報設備やソフトウェアは利用しやすかったですか	3.84	7 36.8%	4 21.1%	6 31.6%	2 10.5%	0 0.0%	19	0
7	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	3.79	5 26.3%	7 36.8%	6 31.6%	0 0.0%	1 5.3%	19	0
8	食堂や購買・コンビニは利用しやすかったですか	3.95	9 47.4%	3 15.8%	5 26.3%	1 5.3%	1 5.3%	19	0
9	経済支援(奨学金等)の体制は整っていましたか	3.84	8 42.1%	3 15.8%	6 31.6%	1 5.3%	1 5.3%	19	0

IV. キャンパスライフについて

No.	設問文	専攻科全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	キャンパスは清潔でしたか	4.68	14 73.7%	4 21.1%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	19	0
2	クラブやサークル活動は参加しやすかったですか	3.79	8 42.1%	2 10.5%	7 36.8%	1 5.3%	1 5.3%	19	0
3	信頼できる教員や友人に出会えましたか	4.58	13 68.4%	4 21.1%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	19	0
4	大学周辺の生活環境はよかったですか	4.53	12 63.2%	5 26.3%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	19	0

V. 総合評価

No.	設問文	専攻科全体 平均点	回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	4.37	12 63.2%	4 21.1%	1 5.3%	2 10.5%	0 0.0%	19	0



# FD 研究部会活動報告書

平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月

---

---

平成 23 年 6 月発行

編 集	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 FD 研究部会		
発 行	徳島文理大学		
	徳島キャンパス	〒770-8514	徳島県徳島市山城町西浜傍示 180 電話：088-602-8000(代表)
	香川キャンパス	〒769-2193	香川県さぬき市志度 1314-1 電話：087-894-5111(代表)

---

---